



第239回広島大学平和センター研究会

福島原発事故『メディアの敗北』を考える ～「処理水」「被ばく」「吉田調書」をキーワードに～



七沢 潔

(ジャーナリスト・中央大学法学部客員教授)

1981年早稲田大学政治経済学部卒業後、NHKに入局。ディレクターとして主に沖縄、原発、戦争に関するドキュメンタリー番組を制作。長年にわたりチェルノブイリ、東海村、福島で起きた原子力事故取材してきた。その後2023年に退職するまではNHK放送文化研究所で原子力報道などメディア研究に従事。テレビ番組に、『ネットワークでつくる放射能汚染地図～福島原発事故から2ヶ月』(2011年・文化庁芸術祭大賞、JCJ大賞、石橋湛山記念・早稲田ジャーナリズム大賞など)、著書に、『東海村臨界事故への道～払われなかった安全コスト』(岩波書店、2005)、『テレビと原発報道の60年』(彩流社、2016)など。論文「テレビと原子力」(『世界』2008.06-08)で科学ジャーナリスト賞、長年にわたる原子力報道の実践と研究により科学技術社会論学会特別賞(2018年度)を受賞。

日時：2023年10月19日(木)

16:30～18:00

**場所：広島大学東千田キャンパス
総合校舎A棟 302**

開会挨拶：川野徳幸(広島大学平和センター長)

コメント：友次晋介(広島大学平和センター副センター長)

モデレーター：中尾麻伊香(広島大学総合科学部)

参加方法:以下の申し込みフォームからお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/0vC2Fd8jjg>

<問合せ先>

広島大学平和センター

TEL 082-542-6975 FAX 082-245-0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp

10/19(木) 広島大学平和センター
第239回研究会参加申し込み

